

地区支援システムの完成

今日は、地区支援システムの完成について、経過と経緯についてお話し致します。

ようやく地区支援システムが完成しました。長い道のりでした。私は、大型コンピュータからパソコンのシステム開発に携わり、14年間の地区部長経験の中で、地区統監・新聞啓蒙・法戦活動といった地区の作業を軽減し、地区の活動を支援するシステムを考え、今日に至りました。

パソコン教室サンライの松永良治と申します。パソコン教室を始めて20年、何のためにパソコンを学ばれるのかは様々です。その中で、ある支部長さんから、『地区統監をパソコンに登録し、名簿作成ができないだろうか』と。女性部（当時の婦人部）の方々から『地区名簿』を作してほしい、座談会の入場券・地区の予定表・各種報告書・ブロック台帳・地区台帳・式次第…等々、パソコンでできることは多々作成してきました。中には、文章作成や表計算を当教室で学習されることもありました。

パソコンやスマホの活用により、活動の資料が楽に作成できないものかと考え、この度、地区支援システムを開発しました。しかし、地区統監をシステム化することは、「パンドラの箱」を開けるようで、希望はあるのか・希望が残るのかという不安はつきません。「このシステムに料金をつけることはできないだろう。だからと言って無償で提供できるのだろうか。」と。

たとえば、ある地区から、「使ってみたい」と要望があったらどうなるだろうか。

（パソコンの場合とiPad/iPhone どちらかでの使用に応じた対応が必要になります。）

- 1, パソコン及びiPad/iPhone 所持の確認により、機器がない場合はどうするのか。
- 2, プリンター所持の確認及び接続確認ができているのかどうか。（iOSの場合はダイレクト印刷）
- 3, パソコンの基本操作ができるのかどうか。（文字入力及び音声入力）
- 4, 地区支援システムのインストール（ランタイム版のセットと必要なアプリのインストール）
- 5, 地区支援システムの初期化及び地区の名簿登録（新規登録かエクセルでの名簿取込）
- 6, 地区支援システムの解説（マニュアルで、操作が理解できるかどうか）
- 7, 誤操作及び不具合の対応
- 8, インク代及び用紙等のランニングコスト

これらが無償で提供することができるのかということ、おそらく無理でしょう。破産してしまいます。

地区の人材（人的資源）を持続可能なものにするために、地区支援システムを開発するのに、開発元が破産しては本末転倒です。破産しても喜んでくれ地区があれば…いや、では破産を避け地区の皆さんに喜んで使っていただくにはどうすればいいのか、そこが問題なのです。

というシナリオで、地区支援システムの導入をテーマに、皆さんと考えてみたいと思います。

パソコン教室サンライ 松永良治



ひろし（主催者）



一郎（副支部長）



太郎（地区部長）



花子（女性部長）



ゆり子（白ゆり長）



金太郎（部長）

地区支援システムの導入について



今日は地区支援システム『常楽くん』の完成に伴い、皆さんのお話をお聞きする為の座談会にお集まりいただき、たいへんありがとうございます。



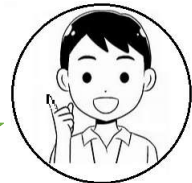
地区支援システムってどんなことができるの。



地区統監・名簿作成・新聞啓蒙・法戦活動・入場券の作成などができます。



地区統監ができるって便利じゃないか。



はい、新入会や転入カード、転出や合世帯など統監にともなう全ての転入と転出を登録できます



えっ、転入や転出が世帯ごとにできるの？



はい、統監カードには世帯カードと個人カードがあるので、それぞれ状況に応じて登録できます。



統監には新入会の紹介者や分世帯の紹介者とかあって、そのへんはどぎゃんなとっととじゃろか。



紹介者の登録も大丈夫です。もともと新入会の登録は紹介者を選択し、新入会者の登録をすると紹介者と新入会者が同時に登録されます。分世帯の紹介者は自動的に世帯主が紹介者となりますが、変更したい場合は後から修正ができます



なるほど 統監のことがわかってますね。



はい、私は様々なシステムの作成に携わってきておりますので、システム化する内容を理解しないとシステムは作れません。私は地区部長経験もありますので統監の仕組みも勉強しています。



そうですか それでこのシステムを作成されたのですね。

地区統監は、地区の苦労というか責任ある大事な作業と思い、少しでも地区の作業が楽になればという願いを込めて通称【常楽くん】としました。もちろん統監には転入転出以外に統監カード枚数、ブロック幹部の人数、座談会及び御書講義の参加数や指定項目があります。これもブロックごとに登録してブロック統監表が作成できます。



だいぶ話が込み入ってきたなー、わしにもわかるだろうか。

そうなんです。一連の統監作業をシステム化したら、複雑になってしまいました。しかし、複雑になったのはシステム内部のプログラムでありまして、操作される内容は一貫性をもってできる限りわかりやすく作成しています。

もともと一連の統監機能をシステム化したものなので、統監が分かっておられるとご理解も早いと思います。転入及び転出に伴う世帯カードと個人カードの内容に応じてシステムの使用方法をマニュアルにて解説しておりますので参考にしてください。新聞啓蒙や法戦に活動についてもマニュアルにて解説しております。



マニュアルがあっても・・・私たち女性部は活動とか仕事があつて、なかなかマニュアルなんて見る時間が取れないんじゃないかしら。

もっともなご意見です。日々の戦いがあつてお時間が取れないのはよくわかっております。ただ、この地区支援システムは、地区の作業が楽になるようにと熟慮し開発しました。雪山の寒苦鳥の例えはご存知だと思います。



知ってますよ。でも私は帰る家もありますし、寒さで毎晩震えているわけではありません。ちょっと失礼ではないですか。

まあまあちょっと落ち着いて、もう少し話をきこうじゃないか。





ありがとうございます。花子さん、それは誤解です。すみません。そうではなく雪山の寒苦鳥は、わたしのことなのです。実はわたしが地区部長当時、統監作業のルールに対応したシステムがあれば・・・、いつかは作ろう・・・といつも思いながら、なかなか取り掛かることができなくて、統監のたびに苦勞していたのです。それがある支部長さんから『統監をパソコンで出来ないだろうか』というご要望を聞いて、思い切って作成する決意をしたのです。

開発に取り掛かっている中で、このシステムを作っても、当然販売することはできないだろうし、無駄なことをやっているのではないか。「こんなことをしている時間があつたら題目を唱えたほうがいいのではないか。」「一部でも新聞啓蒙をした方がいいのではないか。」と言われそうで、自問自答しながら今日に至りました。冒頭にお話しした通り、当にパンドラの箱だったのかもしれませんが、ただ、テスト的に半年間使っていただいているある地区の地区部長さんは、このシステムに対して『便利で感動している』と言われていました。その言葉を励みとし、希望に変えて今日の日を迎えました。



そうだったんですね。早とちりしてしまって恥ずかしいわ。(^-_-)



便利な機能があることはわかりましたが、パソコンを持ってなかったり、パソコンを持ってても、あまり詳しくなかったらどんなに便利なシステムでも使えないのではないのでしょうか。



ごもっともなご意見です。そうなのです。システムの内容が第1番目のハードルとすれば、今のお話は第2番目のハードルとなるでしょう。このことにつきましては、マニュアル及び導入手順書を見てご理解頂けるかたはいいのですが、そうでない方はパソコン学習のお手伝いをさせていただきたいと思っております。これまでパソコン教室では、式次第や入場券を作りたいと教室に通って頂いた女性部の方々もいらっしゃいました。人生100年時代、お仕事のためだけでなく、生活の武器としてパソコンの学習をされる方も増えてきております。その場合は、当教室を是非ご利用いただければ思っております。

これは余談ですが、実は87歳になった父が入院していて、耳も遠く言葉もほとんどしゃべれない介護状態なのです。そんな父が、元気な時にパソコンの学習とかスマホの操作を取得していたなら、もっと有効なコミュニケができたのではないかと悔いております。

文字が書けなくてもボタンを押すことができれば、意思が伝わるのではないのでしょうか。耳が聞こえなくても文字を見れば理解できるかもしれません。パソコンやスマホの学習は、年齢を重ねても効果を発揮できるのではないのでしょうか。



そうじゃな。わしもパソコンの勉強を始めてみよう。



私、どうも機械が苦手だったのだけど、やってみようかしら。



私は仕事でパソコンを使っているのですが、まだまだ未熟ですがお手伝いしましょうか。



僕もおねがいます。と言っても、うちの地区にはパソコンを持っている人がいないのではないですか。どうするのですか。

教室にはレンタル用にパソコンを用意しています。パソコンの学習を始められる方には無料でレンタルできます。まずは学習用にお使いになられても構いません。それと地区にはどなたかパソコンかiPad、iPhoneをお持ちの方がおられると思います。この際その方に、地区支援システムを使って頂くこともできるのではないのでしょうか。



そういえば太郎さんの息子さんがパソコンを持っているから、ちょっと頼んでみたらどうだろうか。この事をきっかけに地区の協議会に来てくれたらいいんだけど。



そうですね。この機会にうちの長男に頼んでみます。

いいですね。この地区支援システムを通して、新しい人材が誕生し、地区の作業が軽減し、効率化できるのではないのでしょうか。

地区統監の終了と同時に地区名簿が作成でき、新聞啓蒙用紙が即座に作成することができ、日時が決まれば宛先ごとに座談会の入場券が作成できます。是非是非ご利用ください。本日はありがとうございました。

